



学校教育目標

誰一人取り残さない教育（すべての児童生徒の主体的な学びを保障）
児童生徒一人一人の教育的ニーズに応じた教育活動を通して、自己のもつ能力や可能性を最大限に伸ばし、社会の中で明るく心豊かにたくましく「生きる力」を育成する。

『 目指す学校像 』

- 安全安心な環境のもと、子どもを主語にして学びあえる学校
- みんなが子どもの可能性を信じ、学び続ける学校
- 保護者・地域の人に関われ、みんなで作る学校
- 子ども・保護者・地域の人・教職員みんなが Well-Being になる学校

[目指す児童生徒像]

- 「あかるく」→元気に、自分から自分らしく自分なりに
- 「なかよく」→いろいろな人とつながり、ふれあい、ひびきあい
- 「たくましく」→気づきや課題にチャレンジ

[目指す教師像]

- 子どもに寄り添い、伴走し、子どもが信頼する教師
- 児童生徒の強みを活かし、可能性を信じ、任せ、学びあう教師
- 未来を見据え、探究心をもち、学び続ける教師
- 授業を校内外みんなに関き、対話を重視して協働する教師



令和7年度重点目標

「ウェルビーイングって?!」

安全安心な教育環境の整備と心身共に健康な児童生徒の育成

- 人権意識を高め、チーム担任制を意識し、対話を基本に子どもが信頼して安心して学べる学校づくりを目指す。
- いじめ・不登校・虐待等への予防的取組と組織的対応の充実を図る。
- 様々な災害を想定し、環境面の充実と児童生徒が主体的に取り組む防災教育の推進を図る。
- 食育(個に応じた摂食指導、食物アレルギー等の適切な対応を含む)やいのちの安全教育を推進。
- ヒヤリハット事例の検証と事故等の未然防止を徹底する。

これからを生きる子どもに合った学びの充実

- 「対話」を基本に「気づき」や「疑問」を大切にしながら子ども一人一人が主体的な学びを実感できる授業を実践し、学びあう。
- 「知識・技能を習得」、「思考・判断・表現等を育成」、「学びに向かう力・人間性を涵養」できる場面を効果的に取り入れた単元計画の工夫
- 専門家と連携し、自立活動の視点を踏まえて授業を展開する。
- 子どもの主体性を引き出すICT機器の有効活用を推進する。
- これからを生きる子どもに合ったキャリア教育の充実と「職業・家庭」「職業」の充実



共につくる学校・地域社会

- 地域資源を活用した(地域の方が活躍、地域に貢献)体験的な学習の充実を図る。(地域が教室)
(校外歩行、仕事しらべ、職業見学、職場体験など)
- 学びあう、つながる地域交流・学校間交流・居住地校交流等の共同学習を推進する。
- 教育・福祉・医療関係機関との協働的な専門性の深化
- 子どもたちの学びの様子や学校の取り組みが伝わる情報発信の工夫。

Well-Beingをめざして

- 「ありがとう」「やってみよう」「なんとかなる」「ありのままに」の実践から Well-Being を探究
- 当事者意識をもった服務規律の遵守とコンプライアンス意識の醸成を図る。
- 幸せに働ける心理的安全性のある風通しの良い職場の醸成と、適切なワークライフバランスに向けた働き方改革を推進する。
- 大人も子どもも主体的な行動を促し、認め、挑戦する人を応援する支援。失敗したら「やり直し」ができる環境づくり。